



京都市立伏見南浜小学校 校長 今西 隆浩
TEL 075-611-0091 FAX 075-611-5107
minamihama-s@edu.city.kyoto.jp

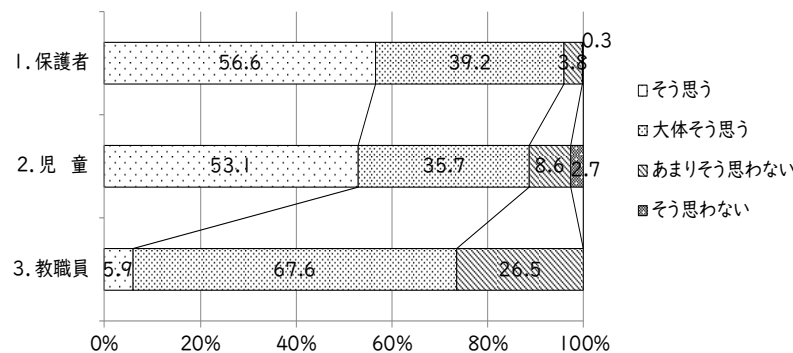


令和3年度 伏見南浜小学校 第1回学校評価 アンケート結果と考察 ～生活面・自由記述～

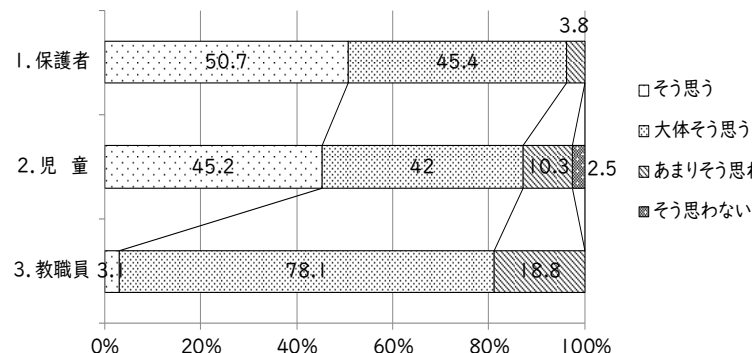
第1回 学校評価アンケート結果について

7月に行った学校評価アンケートでは、340件を超える保護者の方々からの回答をいただき、ありがとうございました。
さて、本年度の第1回目の学校評価アンケートは、①～⑪の内容項目は、昨年度12月に行ったアンケートと同じ内容でアンケートを実施しました。昨年の結果と変化した箇所と保護者・児童・教職員の3者の捉え方に差があった箇所が見られました、また、自由記述欄は、今年度は「未来を担う子どもたちに必要な力は、どんな力だと思いますか。」について、保護者、教職員へご意見を伺いました。

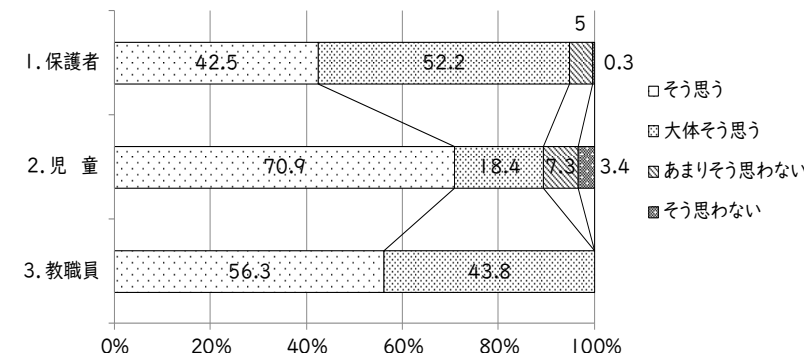
- ①1. 我が家では、進んで挨拶するように声をかけている。
2. じぶんからすすんで、あいさつをしている。
3. 子どもが自分から進んであいさつできていると思う。



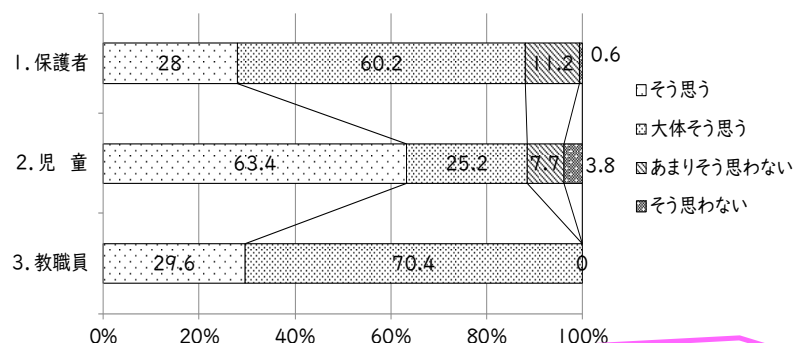
- ②1. 我が家では、子どもに、自分の気持ちを言葉などで表現するように促している。
2. じぶんのきもちをあいてにわかるように、ことばでつたえることができています。
3. 子どもが自分の気持ちや考えを言葉などで表現できていると思う。



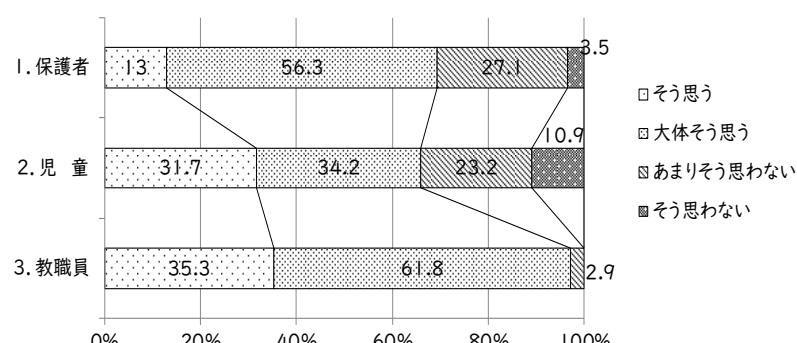
- ③1. 我が家では、子どものよさを認め、ほめる努力をしている。
2. おうちでは、がんばったことをほめてもらえる。
3. 子どものよさを認め、ほめている。



- ④1. 我が家では、子どもの交友関係を把握している。
2. おうちでは、ともだちのことをよくはなしている。
3. 子どもの交友関係を把握している。



- ⑤1. 我が家では、丁寧な言葉で子どもと会話をしている。
2. おうちでは、ていねいなことばでおはなしをしている。
3. 丁寧な言葉で子どもや保護者と話している。



自由記述欄

たくさんのご意見をいただきました。多数順に10個の意見を示したいと思います。

「未来を担う子どもたちに必要な力はどのような力だと思いますか。」

1. 自ら考えて行動する力 … 63件
 2. コミュニケーション力 … 61件
 3. 相手に気持ちを伝える力 … 40件
 4. 違いや多様性を受け止める力 … 20件
 5. 自分で困難を乗り越えていく力 … 19件
 6. 人を喜ばせる力 … 14件
 7. 何事にもチャレンジする力 … 14件
 8. 発想力 … 13件
 9. 正しいことを判断する力 … 11件
 10. 情報活用能力 … 8件
- そのほかにも多数ご意見いただきました。感謝申し上げます。
保護者の方々の思いをしっかりと受け止め、教職員一同、今後の学校教育活動に生かしていきたいと思っています。

1. 生活面

- ①「あいさつ」は、本校が掲げている「伏見南浜小学校のみんなで大切にしたい4つのあ」「あいさつ」「あさごはん」「あんぜん」「ありがとう」の一つです。昨年度の数値と比べると、児童の「あまりそう思わない・そう思わない」が約6%ほど減少し、「そう思う」が約11%増加し、児童のあいさつへの関心度が高まったように感じられます。それに対して、教職員は、「そう思う」が約8%ほど減少しました。保護者・児童・教職員の3者の捉え方にも差が見られました。これは、「自らあいさつ」ができる児童を育てたい。」という教職員の期待の表れではないかと思えます。今年度は、毎週水曜日を「English Day」として設定し、全校挙げて英語による「あいさつ」の取り組みを実施しています。気持ちよく「あいさつ」ができるよう、今後も引き続き大切にしていきたいと思っています。
- ②今年度、本校が子どもたちにつけたい資質能力は、「基礎力」「つながり力」「表現力」です。児童・保護者の捉え方には、昨年度とあまり変化は見られませんでした。教職員の捉え方にも差が見られました。「大体そう思う」が昨年度より約12%ほど減少し、「あまりそう思わない」が約12%ほど増加しました。また、保護者・児童・教職員の3者を比べてみても差が見られます。これも、①の項目と同様に、児童への期待へと同時に、教職員自らの励みがあらわれたものと思われま。
- ③「子どもたちのよさを認め、褒める」ことについては、児童の「そう思う」が約6%ほど増加し、教職員については、「そう思う」が約27%ほど増加しています。引き続き子どもたちの良さを見つけ、一人一人の子どもたちを大切に见守り、支援する教育を目指していきたいと思えます。
- ④「子どもの交友関係」について、「そう思う・大体そう思う」保護者約88%、児童約89%が友だちのことについて家庭で話題にしているという結果が見られました。また、教職員については、昨年度「あまりそう思わない」が昨年度約6%だったのに対し、今年度は0%と、全教職員が子どもたちの交友関係の把握に努めています。今後とも学校での様子をはじめとして「子どもたちの話を聴く」家庭での環境づくりにご協力よろしくお願ひします。
- ⑤「言葉づかい」に関する質問については、約3%の教職員が「あまりそう思わない」と回答しています。まずは大人から丁寧な言葉を示し、子どもたちのお手本となるよう、また、保護者との信頼関係が築けるよう心がけていきたいと思えます。